



納得がいく指導をしたい

～社会参加実習～

発行：附属教育実践総合センター
No.4 2009年 12月22日

ー後期教育ボランティア学習会が開催されましたー

12月2日（水）、M-12教室で学生主催による後期ボランティア学習会が開催されました。司会は家政教育4年の齊藤春乃さん、協議コーディネーターは社会科教育4年の福澤善文さん、ボランティア体験発表は社会科教育3年の平林純さんと英語教育4年の広瀬翔さんが行いました。グループ協議では、活動して良かった点・改善点などが出されました。お互いに学びあって、ボランティアの質を高めていきましょう。

体験発表 平林 純 さん

・・・もっと、児童がうなずいてくれるような、納得がいく指導をしたい。また、頭ごなしに大人の言葉で説明するのではなく、児童に分かるようにしゃべらなければならないと思った。・・・

体験発表 広瀬 翔 さん

・・・ノートを書くのをめんどくさがっている生徒がいる。教科書の問題を解いたり、先生が書いた板書を写すといったことをしない。3段階での支援を試みている。・・・

数学教育 3年 岡本沙織さん 次回への自分の課題も見つかり、ぜひ実践に移し、さらにそれをまた良くできるよう改善できればと思います。

音楽教育 3年 佐藤春菜さん ボランティアは1人で行くことがほとんどなので、みんなが頑張っているという事が分かってとても嬉しかった。

ソフトサイエンス 3年 小林隆太さん 私の中での今の問題は生徒への注意の仕方でした。・・・グループで話すことにより、解決法が見えてきました。

音楽教育 2年 金折奏平さん 考える時間が予想よりも長く確保されており、有益な時間でした。

技術教育 3年 水出真帆さん 参加者の方々とたくさん意見を交換できたので自分では思いつかない指導方法や考えをたくさん聞くことができました。

障害児教育 3年 長沼健悟さん 学校の先生は、1人でやるものではなく、他の先生や児童生徒との関わりによって成り立つ存在だと感じます。

家政教育 3年 山内詩織さん 生徒指導、教科指導について改めて考えることができたし、自分自身のボランティア活動について振りかえることができた。

家政教育 4年 齊藤春乃さん 自分が悩んでいたことを、他の仲間も悩んでいたことで問題を共有し、改善策を見つけていけたことがすごく良かった。

社会科教育 4年 福澤善文さん 目的意識を明確に説明することで生徒は集中したりする。

◇学習会に参加された皆さんの声です。学生の皆さんが、学んだことをより広く、より高く、より深めて、ボランティア活動に取り組む事を期待しています。



◇学習会への御協力ありがとうございました。まだ寒い日が続きますが交通事故等に注意して活動してください。

山梨大学教育人間科学部 教育ボランティア委員会